２０１７年度事業計画

【基本方針】

私たち福岡県社会福祉士会は、基本理念「ソーシャルワークの実践により人々の幸せの実現を目指します」に基づき、人々の生活問題に対して、人と環境の交互作用に働きかけ、ソーシャルワークを駆使することで「福岡県民の福祉の向上」を図ります。また、生涯研修制度を充実させることによって、会員個々の資質の向上に努め、実践力の高い社会福祉士を養成します。

今年度は、第１期中期経営計画（2016～2020 年度）の２年目として、より多くの会員が各事業、各委員会へ参画できるよう「会員参加の法人運営」を心掛け、組織の基盤強化に取り組み、幸せがあふれる社会づくりに努めます。

【重点施策】

１．公益事業の推進

（１）県民向け出前講座（無料研修講師派遣事業）の実施

（２）福岡県社会福祉セミナー（仮称）の検討

（３）福岡県ソーシャルワーク三団体連携協議会と「ソーシャルワーカーデー」の普及啓発

２．生涯研修制度の推進

（１）生涯研修センターを中心とした研修等の企画運営

（２）認定社会福祉士養成のための研修認証、スーパービジョン実施

（３）会員人材育成支援と研究活動支援

３．権利擁護事業の推進

（１）権利擁護センターぱあとなあ福岡の運営

（２）成年後見人等養成と支援体制の強化

（３）法人後見・未成年後見の体制の検討及び整備

（４）虐待対応ソーシャルワークの展開

４．社会福祉事業の推進

（１）行政等委託事業の受託

（２）本会の専門性を発揮した社会福祉事業の実施

【公益事業】

（実施中）

福岡高齢者・障害者虐待対応チーム事業

資格取得支援事業　第三者評価事業

サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修事業

相談支援従事者初任者研修事業

（計画）

地域包括支援センター事業（検討）

同行援護従業者養成研修事業（検討）

強度行動障害支援者養成研修事業（検討）

（３）新たな収益事業の可能性を探る研究事業の実施

高齢者・障害者ライフサポート事業（検討）

※　これからの高齢化等を見据え、居住支援、民事信託、葬送、任意後見等を組み合わせた事業実施の可能性を研究する。

５．法人統治（コーポレート・ガバナンス）の推進

（１）会員参加の法人運営

・ブロック活動の実施と顔の見える関係づくり

・綱紀委員会の設置

（２）法人事務局体制の強化

・常務理事配置の検討

・部門制の検討

（３）経営基盤の強化

【 公益目的事業 】

１．地域福祉の増進に寄与するための事業（公１）

■ **成年後見・権利擁護事業**（ぱあとなあ福岡委員会）

① 体制の整備

法人後見体制の整備、未成年後見受任体制整備プロジェクトチーム（以下「ＰＪＴ」と表記）、報酬助成検討ＰＪＴ、成年後見制度利用支援事業推進対策ＰＪＴ、業務監査委員会開催

② 運営基盤強化

会員派遣調整手数料の徴収適正化、任意後見契約前報告実施検討、名簿登録者ＭＬの改善

③ 名簿登録者の養成

成年後見人材育成研修開催、名簿登録研修開催

④ 名簿登録者の支援

初任者支援、継続研修開催、更新研修制度確立、更新研修開催

⑤ 相談・普及啓発活動

相談体制の整備（電話相談、来所相談）、成年後見活用講座開催、ぱあとなあ案内パンフレット（関係機関版）作成

⑥ 地域支援体制の整備

名簿登録者交流会開催、事例検討会・勉強会開催、メンターの配置・活用

⑦ 他機関・他部門との連携

家裁家事関係機関連絡協議会参加、都道府県ぱあとなあ連絡協議会参加、ぱあとなあブロック会議参加、他機関への委員・講師派遣、日本社会福祉士会継続研修モデル研修への派遣

⑧ 会議開催（運営委員会開催、部門会議開催）

■ **福岡高齢者・障害者虐待対応事業**（高齢者・障害者虐待対応事業推進チーム）

① 弁護士会との共同事業「福岡高齢者・障害者虐待対応チーム」活動推進

福岡高齢者・障害者虐待対応チームは、高齢者や障害者の虐待対応事務を担う県、市町村及び虐待対応協力機関を側面から支援するために、ケース会議等の場において専門的な助言を行うことを目的とする。

② 弁護士会との運営管理委員会開催

チームの活動内容、市町村への助言内容、事例検討、支援実施報告、チームの運営・企画検討

③ 虐待対応チーム登録者研修会開催

④ 日弁連・日本社会福祉士会共催の高齢者・障害者虐待対応専門職チーム交流会・研修会への派遣

■ **県長期入院被保護者 CA 事業**
■ **宮若市長期入院被保護者 CA 事業**
■ **直方市長期入院被保護者 CA 事業**
（被保護者等支援事業推進チーム）

退院可能であるにもかかわらず、退院条件が整わないため入院を継続している精神障害者や高齢者などの被保護者に対して、担当ケースワーカーと協力して、退院条件を整え、在宅または生活型施設に退院させ、退院後の生活を安定・継続させる。

① 業務内容検討・研究会開催（毎月１回）

（事業の取組状況報告、困難事例の検討、ピアスーパーバイズ）

② 事業統括者の設置（県・宮若市・直方市との調整及び報告書作成の統括）

■　**福岡市子どもの健全育成支援事業**（子どもの健全育成支援事業推進チーム）

①　相談支援員との事例および業務検討会議の開催
②　スーパービジョンの実施
③　効果測定実施
④　市とのカンファレンス、事業報告

■　**久留米市子どもの健全育成事業**（子どもの健全育成支援事業推進チーム）

①　相談支援員との事例および業務検討会議の開催
②　スーパービジョンの実施
③　市とのカンファレンス、事業報告
④　関係者会議（市担当者、相談支援員、事業担当理事、本会三役等）開催
⑤　効果測定実施

■　**宮若市生活困窮者自立支援事業**（被保護者等支援事業推進チーム）

①　相談業務全般のマネジメント
②　他の支援員の指導育成
③　支援困難なケースへの対応など高度な支援
④　社会資源の開拓、連携等
⑤　支援調整会議の開催及び運営
⑥　住宅確保給付金に係る受付業務

■　**福岡市ホームレス巡回相談事業**（ホームレス自立支援事業推進チーム）

①　巡回相談・アフターケア業務の実施
②　連続的・継続的・包括的支援体制の構築
③　緊急時対応体制の構築

■　**福岡市ホームレス概数調査事業**（ホームレス自立支援事業推進チーム）

①　概数調査の受託
②　概数調査の準備
③　概数調査の施行
④　福岡市へ報告

■　**第三者評価事業**（第三者評価運営委員会）

①　社会的養護関係施設、高齢者施設、障害者施設等の訪問調査
②　第三者評価決定委員会の開催
③　第三者評価結果の公表
④　調査者の人材育成
　全社協・県社協評価調査者養成研修、継続研修への参加、内部研修開催、調査オブザーバー初回参加者への随行旅費一部助成
⑤　受審体制の基盤整備
　調査者用マニュアル・補助資料類の整備、保育所、障害児・者施設の評価基準改正に伴う調査票類の作成
⑥　県内評価機関との連携
　県内他調査機関との連絡会参加（情報共有、協力連携）

■　**事業運営推進会議**

①　事業運営体制の検討
②　事業運営推進会議要綱作成
③　各受託事業等の課題整理と改善
④　新規受託事業等の企画提案事務

■　**実習指導者養成**（実習指導者養成研究委員会）

①　社会福祉士実習指導者講習会の開催
②　実習指導者フォローアップ研修会の開催
（実習プログラミング、実習スーパービジョン）
③　実習指導に関する調査、研究の実施

■　**社会福祉実践研究**（社会福祉実践研究支援委員会）

①　研究誌の発行

■　**地域包括ケア推進委員会**

①　地域包括支援センター社会福祉士実務研修会（認定社会福祉士認証研修）の開催
②　地域包括支援センター実践報告会の開催
③　地域包括支援センター社会福祉士向けの情報交換の場の運営
④　地域包括支援センター社会福祉士メンター制度のあり方の検討・実施
⑤　行政・地域包括支援センターとの連携
⑥　他委員会との連携
福岡県高齢者虐待対応専門職員研修の企画・運営

■　**広　報**（広報委員会、出前講座委員会）

①　「ふくおか社会福祉士通信」の発行
②　県民対象の講演会開催
③　県民向け出前講座開催
④　福岡県社会福祉士会パンフレットの制作

■　**ユース**（ユース委員会）

①　施設見学研修開催（県内：年１回）
②　施設見学ツアー開催（県内外：年１回）
③　座学研修会開催
④　レクリエーション開催（交流会、日本社会福祉士会全国大会での懇親会）
⑤　学校等、社会福祉士になる前の専門機関に対する啓発活動（入会啓発活動）

■　**生涯研修センター協議会**

①　生涯研修制度と認定社会福祉士制度の広報啓発活動
②　共通専門・分野専門・ＳＶ事業の進捗管理及び達成状況の把握と評価実施
③　会員の研修履歴管理、修了申請及び認定社会福祉士認定申請フォロー
④　認定社会福祉士制度研修認証申請および会員の認定社会福祉士認定研修受講の機会確保
⑤　社会福祉士養成校協会、九州沖縄ブロック社会福祉士会との連携

■　**基礎研修委員会**

【基礎Ⅰ部会】

①　会員の帰属意識を高め、共通に求められる価値・知識・技術の基礎を習得する機会を提供
②　認定社会福祉士を目指す動機付けにつながるよう支援

【基礎Ⅱ部会】

①　会員が実践力を高めるための援助技術の理解を深める研修を計画的に実施
②　社会福祉士養成校と連携し学生ボランティアスタッフによる効果検証
③　九州沖縄ブロック社会福祉士会との協力体制強化による会員の受講機会を確保

【基礎Ⅲ部会】

① 会員が過去２年間の基礎課程で学んだ知識をさらに深め、社会福祉援助の展開過程を踏まえた実践の言語化と評価を習得する機会を確保
② 九州沖縄ブロック社会福祉士会との協力体制強化による会員の受講機会確保
③ 本基礎研課程の企画運営を担うなど実践的な力量を高める動機づけ
④ 社会福祉士養成校と連携し学生ボランティアスタッフによる効果検証

■ **児童・家庭委員会**

① 委員会独自の研修企画・運営
② 認定社会福祉士認証研修の企画・運営
（児童家庭福祉論）

■ **障害者委員会**

① 委員会独自の研修企画・運営
② 認定社会福祉士認証研修の企画・運営
（在宅障害者支援）

■ **高齢者委員会**

① 委員会独自の研修企画・運営
② 認定社会福祉士認証研修の企画・運営
（老年心理学、ターミナルケア）

■ **医療委員会**

① 認定社会福祉士認証研修の企画・運営
（脳血管疾患患者支援、病院生活支援）

■ **地域社会・多文化委員会**

① 委員会独自の研修企画・運営
② 認定社会福祉士認証研修の企画・運営
（リーガルソーシャルワーク）

地域社会・多文化委員会（災害支援部会）

① 認定社会福祉士認証研修の企画・運営
（災害支援）
② 災害支援ガイドラインの策定

■ **高齢者虐待防止専門職員研修**（高齢者・障害者虐待対応事業推進チーム）

① 養護者による高齢者虐待対応基礎研修（初任者編／２日間）の開催
② 養護者による高齢者虐待対応応用研修（現任者編／１日間）の開催
③ 福岡県市町村職員等に対する虐待対応力向上研修（事業所編／１日間）の開催

■ **サービス管理責任者研修**（福岡県サービス管理責任者研修事業推進チーム）

① 福岡県サービス管理責任者研修の開催
② 福岡県児童発達支援管理責任者研修の開催

■ **相談支援従事者初任者研修**（福岡県相談支援従事者初任者研修事業推進チーム）

① 福岡県相談支援従事者初任者研修の開催

■　**障害者虐待防止・権利擁護研修**（障害者虐待防止・権利擁護研修事業推進チーム）

①　福岡県障害者虐待防止・権利擁護研修の開催（２日間）

■　**資格取得支援委員会**

①　社会福祉士国家試験受験対策講座の開催
（科目単位の選択受講を可能にし受講者の便宜を図る）

②　社会福祉士全国統一模擬試験の実施

③　講座・模試のＰＲを強化し受講者の便宜を図る

■　**独立型社会福祉士支援委員会**

①　委員会独自の研修企画・運営

②　独立型社会福祉士実践報告会の開催

【 収益事業等 】

１．会員活動支援事業（他１）

（１）ブロック活動支援

＜福岡ブロック＞

①　ブロック独自の研修企画・運営

②　施設見学研修の開催

③　ミニ研修会を開催し会員の相互交流を図る

＜北九州ブロック＞

①　北九州地区社会福祉専門職団体合同研修会の開催

②　交流会の開催

＜筑豊ブロック＞

①　ブロック独自の研修企画・運営

＜筑後ブロック＞

①　ブロック独自の研修企画・運営

（２）総務委員会

①　本会の諸活動に関する助言、支援

②　本会の諸規程の改正、整備に関する助言

③　本会の諸活動に関して必要に応じて評価を行う

④　その他会長の特命事項についての助言、支援

２．その他事業（他２）

（１）日本社士会支援

①　日本社会福祉士会の法人会員として年会費支弁

②　新入会者経費の支弁

③　綱紀案件負担金の支弁

【 法人運営事業 】

１．法人運営　（法人）

（１）社員総会の開催

①　社員総会　　６月２５日（日）

（２）理事会の開催

①　第１回理事会　　４月１６日（日）
②　第２回理事会　　５月２１日（日）
③　臨時理事会　　７月　２日（日）追加選任新理事合流
④　第３回理事会　　９月１０日（日）
⑤　第４回理事会　　１０月１５日（日）
⑥　第５回理事会　　１２月１０日（日）
⑦　第６回理事会　　１月２８日（日）
⑧　第７回理事会　　３月１１日（日）

（３）役員補充選任

①　選挙管理委員会の開催
②　会員理事立候補者の公開
③　会員役員選挙の実施及び選任手続き
④　理事の変更登記、県への届出

（４）組織強化

①　入会促進策の実施
・入会キャンペーン
・入会者紹介キャンペーン
・次年度先行入会キャンペーン
・受験対策講座・模試を受講した国試合格者への入会勧誘
②　事務局ネットワークシステム・セキュリティの強化
・３拠点におけるＶＰＮ（Virtual Private Network）構築
（博多事務所、巡回ふくおか事務所、久留米市受託事業担当者）

以上